

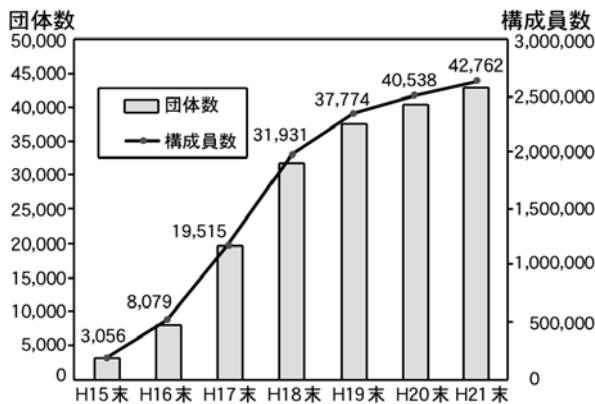
自主防犯活動

犯罪を抑止する自主防犯活動

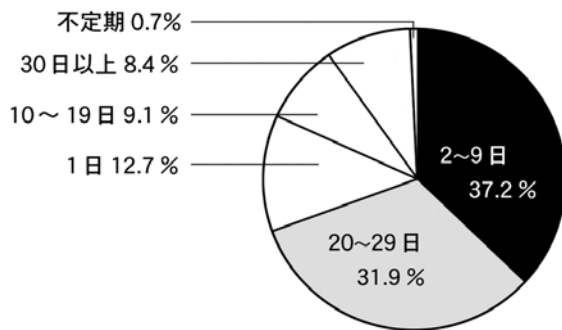
防犯ボランティア団体などの活動が各地で活発に行われ、地域での犯罪抑止と安全で安心なまちづくりに大きく貢献している。団体数・構成員数も年々増加している。平成 21 年 12 月末時点における団体数は 42,762 団体、構成員数は 2,629,278 人である。

防犯ボランティア団体の状況(平成 21 年 12 月)

① 団体数・構成員数の推移



② 1 か月の平均的な活動日数



③ 主な活動内容 (複数回答)

- ・徒歩による防犯パトロール (35,421 団体, 82.8%)
- ・通学路における子どもの保護・誘導 (33,156 団体, 77.5%)
- ・危険箇所の点検 (17,301 団体, 40.5%)

④ 合同活動の状況 (複数回答)

- ・警察と合同活動を実施している団体 (19,723 団体, 46.1%)
- ・防犯協会と合同活動を実施している団体 (10,647 団体, 24.9%)
- ・自治体と合同活動を実施している団体 (6,352 団体, 14.9%)

(警察庁・自主防犯支援サイトより抜粋)

防犯ボランティア活動活性化のための支援

・防犯サミット【千葉】

県知事部局、県警、千葉市等の自治体が連携し、自主防犯活動の活性化とレベルアップを図るため、活動事例の発表や市町村担当者等との意見交換を行う「地域防犯サミット」を県内 3 地域で実施。その総括として「千葉県防犯サミット中央大会」を開催。

・学生防犯ボランティア登録制度【京都】

府警が、学生の街という特色を生かし、若年層の犯罪被害の防止と規範意識の向上を図るため、学生防犯ボランティア登録制度(ロックモンキーズ)を創設し、物品支援等を実施。平成 21 年末現在、25 大学 93 人が登録している。

各地のユニークな団体

・秋田／よこてレインボーパトロール隊

平成 16 年 7 月、横手市内で高齢者や子どもを対象とした犯罪が多発していたことから、日常の業務を通じて管内のパトロールが容易な事業者が連携して結成。新聞配達、牛乳配達、ヤクルト配達、赤帽、電気検針員、水道検針員、運転代行等 7 分野の業者で、構成員は約 400 名。業種によって業務時間が異なるので、終日巡回活動が行われている。

・東京／ご近所付き合い広目隊

平成 15 年 3 月に NHK「難問解決、ご近所の底力」に空き巣被害多発地区として 32 名出演したのをきっかけに結成。杉並区馬橋地区全域の様々な団体や個人に声かけをして、現在の構成員は 200 名以上。地域を 6 地区に分け、毎日約 1 時間防犯パトロールをしながら挨拶を交わし、ゴミ拾い、違反広告物除去、放置自転車撤去、地区内の防犯防火環境美化に努めている。

・香川／香川子ども見守り隊 ～守るんジャー～

構成員は、四国学院大学の学生で 50 名以上。小学生が殺傷される事件をきっかけに、平成 18 年結成。小学生が下校する時間に合わせ、週 4 回パトロールを実施している。